

令和元年6月3日

在デンマーク日本国大使館

デンマークをご旅行中(ご滞在中)の皆様へスリや置き引きにご注意ください

■ 現在、コペンハーゲン中心部の繁華街や観光地において、邦人がスリや置き引きといった盗難被害に遭う事件が続発しています。繁華街を訪れる際には、鞆や貴重品は身体の前側に抱えて、肌身離さずに携行してください。飲食店やホテルでのご飲食中も鞆や携帯電話、カメラ等の貴重品は身につけておいてください。荷物を席に置いて料理を取りに行くなど目を離れた一瞬の隙に被害に遭う事例も発生しています。

■ 「治安の良いデンマークだから大丈夫と思っていた。」「他のヨーロッパを旅行してコペンハーゲンまで来たからもう盗まれないだろうと気を抜いてしまった。」等といったように、ふとした気の緩みや治安が良いとの思い込みから被害に遭われるケースが多くなっていますのでご注意ください。

■ 旅行者の方だけでなく、長期間デンマークに滞在していらっしゃる日本人の方についても、スリなどの被害に遭ったとのご連絡も寄せられています。犯罪者の目から見れば、旅行者の方も長期滞在者の方も同じ「金を持っていそうな日本人」に映ります。旅行者の方だけが標的となっているわけではありませんので、油断することなく十分な注意を払っていただくようお願いいたします。

【注意点】

- 旅券や現金、クレジットカード等の貴重品類については、肌身離さず身につけておくとともに、ショルダーバッグやバックパックなどは、体の背面ではなく、前側に抱えてお持ちください。鞆類の肩紐は体の一部に常に掛けておくよう、心がけてください。
- 財布やパスポートは決してズボンの後ろポケットに入れることがないように注意してください。
- デンマークでは、警察官が路上で所持品検査を求めることは通常ありません。警察官を装って近づいて来た人物から所持品の提出を求められても、決して応じないでください。

【最近発生している被害事例】

以下は、大使館にご連絡いただいた、最近発生している盗難被害の事例です。

- ニューハウンの橋で他の観光客から写真撮影をお願いされ、写真を撮ることに気をとられた隙に財布を盗み取られた。
- コペンハーゲン郊外のホテルに宿泊し、朝食の際に席にバッグを置いて料理を取

りに行った際にバッグを盗まれた。

- バスの中で財布を盗まれた。(長期滞在者)
- 観光地に近いバーで食事をしていた際、足下にバッグを置いて両足で挟むように足下にバッグを置いていたところ、バッグの中から財布を盗み取られた。
- スーパーマーケットに車で買い物に行き、駐車場に車を停めたところで道を尋ねられ答えていたら、車外から突然助手席に置いていたバッグを掴み取られた。(長期滞在者)
- 中央駅近くや人魚姫の像付近の路上で、「警察官」を名乗る男に呼び止められ、麻薬犯罪の捜査などを理由に所持品の提出を求められ、財布を盗まれた。